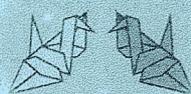


～戦後70年事業～

『奈良で平和を考える』



本年は、広島・長崎に原子爆弾が投下され、第二次世界大戦終結から70年という節目の年にあたります。また12月は障害者週間、人権デーや人権週間、北朝鮮人権侵害問題啓発週間などがあることに加え、8日は太平洋戦争が始まった日でもあり命の大切さや人権を考える上で節目の月となっています。

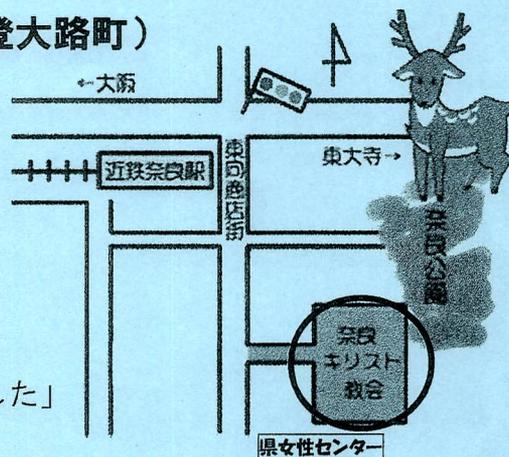
この節目の月に先立ち、戦争の悲惨さを知り、平和の大切さについて戦争を知らない世代の人たちに語り継ぐとともに、恒久平和を願い、二度と戦争を起こさない平和な世界を目指すことを目的とし、戦後70年の節目となる本年の締めくくりとして、あらためて皆さんと平和について考えたいと思います。

日時:平成27年11月28日(土)午後1時30分～3時30分(1時受付)

場所:日本聖公会 奈良基督教会 礼拝堂(奈良市登大路町)

(平成27年7月8日 国の重要文化財として指定)

※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください



プログラム

☆市長あいさつ

☆基調講演 鬼丸昌也氏

演題「こうして僕は世界を変えるために一步を踏み出した」

☆トークディスカッション

コーディネーター 中川直子氏 (ならどっとFMアナウンサー)

出席者

・広島で被爆体験をされた方

・元特別攻撃隊員の方

・硫黄島で親族を亡くされた遺族の方

・第17代高校生平和大使

鬼丸昌也氏 (認定NPO法人テラ・ルネッサンス創設者・理事)



1979年福岡県生まれ。立命館大学法学部卒業。

2001年カンボジアを訪れ地雷被害の現状を知り

「すべての活動はまず『伝える』ことから」と

講演活動を始める。同年10月「テラ・ルネッサンス」を設立。

著書に『ぼくは13歳 職業、兵士。』『こうして僕は世界を変えるために一步を踏み出した』など。

高校生平和大使とは

核の惨禍を知る被爆地ナガサキの声を世界に伝えようと、国連でスピーチしたり国内で様々な活動をしたり活発に活動をしている高校生です。

1998年から取り組みが始まり、2014年に約500名の応募から21名が国連に派遣され、関西から初めて選ばれた奈良市の高校生に出席していただきます。

申込方法

11月27日(金)までに人権政策課人権啓発係
近原または橋口へお電話ください。

電話0742-34-4733

定員 150名

入場無料

【問合せ】奈良市役所 人権政策課 〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

電話 0742-34-4733 FAX0742-34-5304 Eメール jinkenseisaku@city.nara.lg.jp

主催:奈良市 (平成27年度法務省委託事業)

